

だいじょうぶ。ともにあるこう。(2016. 1. 1)

三鷹市議会議員

野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.86

2016年を光さす年に！ 平和を支え、1人ひとりが大切にされる国へ、 手を携えて歩んでいきましょう。

今、時代は大きく振れている。

憲法を無視してつくられた戦争法。

人を監視・管理するマイナンバーや秘密保護法、盗聴可能な刑事訴訟法改正。

地方自治を無視して強行する辺野古基地建設に、民意を踏みにじる原発再稼働。

見せかけだけの経済回復は、年金を機関投資家の喰い物にし、庶民の懐を直撃する消費税増税。

でも必ずやり戻しがある。歴史を紐とけばそれはあきらか。

流れに竿刺し、破局の手前で引き戻せるよう、努力したい。

今年こそ、目先にとらわれず、地道に、でもしたたかに生き抜いていこう。



■12月議会

◆マイナンバー利用に反対

・議案第62号個人番号利用条例・第63号個人番号カード利用条例に反対。法施行前に利用拡大を図るなど、政府の制度構築そのものが拙速で漏れが多い。市の独自利用について、今後が不透明。

個人番号カードは任意であるとの記載が通知にはなく、顔写真データ保存も含め情報漏洩等の可能性があり、プライバシー保護が十分ではない。

◆議員期末手当増額反対、市長等は退席

・第80号議員の期末手当増額。職員に準ずるとするが、過去減額にはつきあわず増額のみ同調してきた経緯があり、増額に**反対**。

・第79号市長等の期末手当増額。報酬審議会は報酬のみで、期末手当は報告のみ。職員に準じて引き上げる事の可否を、報酬審議会に諮り、市長がその責を追うべきとして、**退席**して判断を示さず。

・第81号職員給与ベースアップと期末手当増額。&部長職給与表を勤務評定前提の東京都に準じる改定。労使合意を前提に**賛成**。



◆住宅政策を問い直す(一般質問)

住み続けられるまちづくりを。

Q：中堅所得ファミリー層向けの市民住宅は、空家率30%。20年前には有効だった政策が今や1千万円もの一般財源を投入せざる得ない事態。住居が必要な**低所得者層向けに転用**し活用できないか？

A：設置の枠や補助金等の関係で転用できない。借上型は契約終了まで現状維持。

Q：**居住支援協議会**は、住宅確保要配慮者のために国交省が補助金をつけ設置を奨励している。高齢者・障がい者への居住支援策を広げ、「ハウジングファースト」、誰もがまず住まいの権利を確保するよう、福祉と連携し、設置すべき。

A：庁内連携の中で検討する。

▶▶▶ 事前ヒアリングで、健康福祉部は居住支援協議会について認識していないことが判明。低所得者、多子世帯、若年単身者等幅広い世帯向けの支援策としての居住支援を、空き家対策とのマッチング等も含めた他自治体例を紹介しつつ検討を求め、とりあえずの問題提起とした。

◆指定管理者制度のあり方を問う

- ・第66号地区公会堂は指定管理廃止、直営に。
- ・第73号コミセンは住協に10年継続で指定。



・第72号ジブリ美術館を継続で10年過去10年間の指定管理運用の評価ではなく、昨年5月策定の「指定管理者選定・運用基本方針」に基づいての判断すでの方針で決定されている指定先への指定の議決とは何か。非公募で継続することや、直営に戻すと決めたことに対する市民聴取はない。66号、73号は厚生委員会で質疑、72号は本会議場で討論。いずれも理由を述べて賛成。



◆高山・三鷹台保育園廃止に反対

・第68号議案。公私連携型保育園として、(福)三鷹市社会福祉事業団に移管。保育士の処遇が同一にはならず、保育の質の確保に疑念が残る

◆請願第6号「地方と政府との対話による解決と地方自治の尊重を求める意見書を提出することを求めることについて」

辺野古沖の埋め立て承認を巡り、沖縄県の承認取消し決定を国が踏みにじる対応を対し、地方自治の尊重を求める意見書の提出を求める請願は200筆余の署名。総務委員会にて請願者が補足説明するも、自・公・無所属・維新が反対し、11:16で否決。



◆議員提案意見書

・「地方と政府の対話による解決と地方自治の尊重を求める意見書」；請願に基づき紹介議員として野村提案。自公無維新反対、11:16で否決。

・「『共通番号制(マイナンバー)』運用の延期を求める意見書」；嶋崎議員提案。7:20で否決。

・「マイナンバー制度の円滑な運営にかかわる財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書」；マイナンバー制度の危険性を上げ反対討論。可決。

・「都市農地の保全と農業振興の推進に関する意見書」；住宅開発より農地保全と賛成討論。可決。

・「自転車による交通事故の防止策のさらなる徹底と事故に対応し得る公的保険制度の創設を求める意見書」；提案者に質疑した上で討論して賛成。

・「ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書」；診断基準や両方による副反応などが不明確。至急頸がんワクチン被害の例を引き、時期尚早と反対討論。可決。

○議案提案時の質疑

3人以上の交渉会派ではなくなったため、議会運営委員を返上。結果、議案が委員会付託されるか否か意見を言えなくなった。

そのため、議案上程時に議案に対し質疑したいと申し出た。地方自治法上は可能で、他の議会でも普通に行われている。しかし、今まで三鷹市議会ではやらないという申し合わせがあり、実施してきていない。

議会開会後に質疑したいと申し出たら、議運を開く必要があり、本日の申し出では遅い。開会前の議運に間に合うようすべきだったとの対応で断念。根回しが足りなかったことを反省。

○諸派5人の改革提案は、継続協議

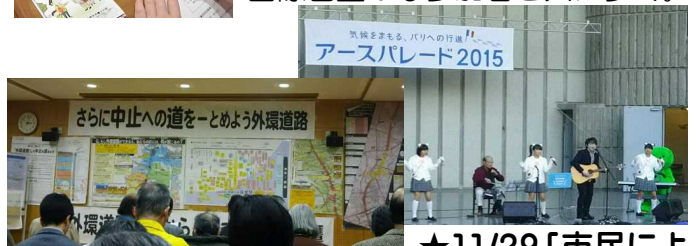
・11/5提出の提案書は、会派持ち帰りの後、今後も議会改革の中で検討とのこと。

・議会改革検討委員会準備会は、どのような構成で議会改革特別委員会を設置するのか等の議論を行った模様。設置は未定。



★11/23「憲法カフェ」。市内のイタリアンレストランにていっしょの会主催で、明日の自由を守る若手弁護士会の田村優介弁護士を迎え開催。15名の参加。

★11/28アースパレード。パリでの世界気候会議に呼応した、国際色豊かな参加者と共に歩く。



★11/29「市民による外環道路問題連絡会・三鷹」総会。小山玉川大教授のコンパクトなこの間の外環運動の解説。「外環道路って何？」の小冊子の完成披露。

・工事が始まるも区分地上権者は、小グループで事業者と家屋調査等で交渉。当事者の声が重要！

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No.86
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail : issyonokai@nomura-yoko.net
Url : http://www.nomura-yoko.net
Twitter : @hitujinomura

